

検体採取方法 < 唾液 >

高知県幡多福祉保健所

●注意事項

・発症から9日以内のものであること。

※可能であればウイルス検出効率が高い鼻咽頭ぬぐい液を唾液に優先して採取してください。

●必要物品

- 滅菌容器（50ml遠沈管等ネジロのもの）
- パラフィルム
- ジップ付きポリ袋
- 消毒用エタノール
- 感染性廃棄物容器
- キッチンペーパー
- ビニール袋
- 手指消毒剤



感染性医療廃棄物容器



【防護具】

- サージカルマスク
- 手袋

手 順

1

①



②

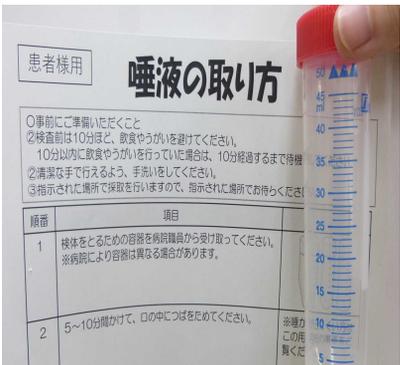


①必要な防護具を着用し、必要物品を準備する。

②検体容器に貼り付けるラベルに患者名をフルネームで記名しておく。

2

①



①患者に容器を渡す。

②30分(最低10分)以上、飲食やうがいをしていないか確認する。
(していたら10分後に検体採取する。)

③患者の手を拭くためのワットティッシュを渡す。

④5～10分ほど口の中に唾液をため容器に吐き出してもらおう。

⑤患者にフタをしっかりと閉めるよう指示。

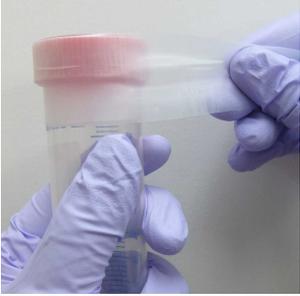
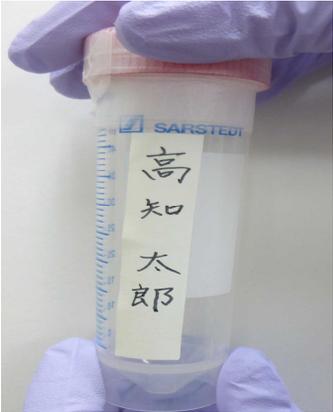
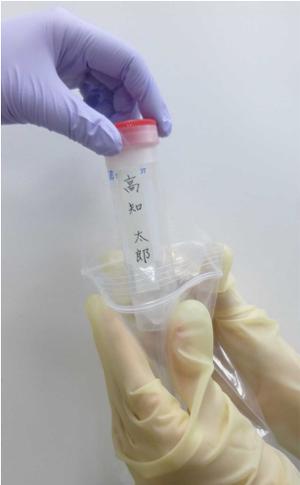
⑥患者の手を拭くためのワットティッシュを渡す。

③,⑥




【必要量】 1～2 ml

手 順

<p>4</p>	<p>①</p>  <p>②</p> 	<p>①アルコールを浸したキッチンペーパー入りビニール袋に患者から検体容器を受け取る。</p> <p>②袋の中のキッチンペーパーで検体容器を拭き取るように消毒。</p>
<p>5</p>		<p>ビニール袋から検体容器を取り出し、パラフィルムを巻く。</p>
<p>6</p>		<p>検体容器に患者氏名を記入したラベルを貼付する。</p>
<p>7</p>		<p>①介助者にジップ付きポリ袋を開けてもらい、外側に触れないように検体容器を入れる。</p> <p>②手袋を外した後は必ず手指消毒を行う。</p>

※検体採取後、可能な限り速やかに氷上または冷蔵庫（4℃）に保管し、輸送開始までに 48 時間以上かかる場合は-80℃以下で凍結保存する。-80℃の冷凍庫がない場合は通常の冷凍庫（-20℃程度）で保存でよい。

唾液の取り方

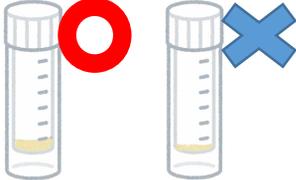
○事前にご準備いただくこと

②検査前はできれば30分(最低10分)以上、飲食やうがいを避けてください。

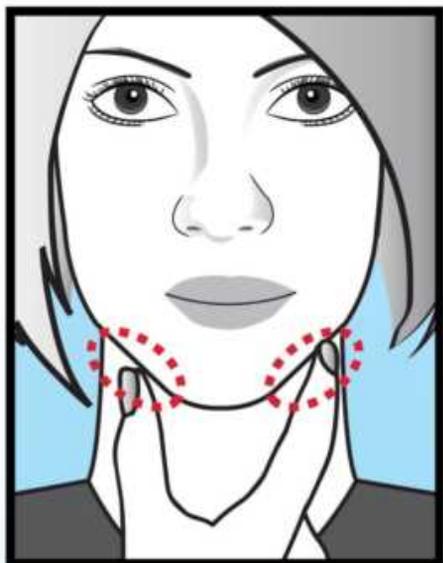
10分以内に飲食やうがいを行っていた場合は、10分経過するまで待機してください。

②清潔な手で行えるよう、手洗いをしてください。

③指示された場所で採取を行いますので、指示された場所でお待ちください。

順番	項目	
1	検体をとるための容器を病院職員から受け取ってください。 ※病院により容器は異なる場合があります。 ウェットティッシュで手を拭きます。	
2	5～10分間かけて、口の中につばをためてください。	※唾が出にくい方はこの用紙の裏面をご覧ください。
3	つばがたまったと感じたら、マスクを外してください。	
4	容器のふたを開けて、その中につばを出してください。	
5	出したつばが1～2mlあることを確認して、ふたをしっかりと閉めます。量が足りない場合は、再度口につばをためて、容器に吐き出してください。 容器が汚れた場合は、ティッシュなどで拭いてください。	
6	マスクをつけます。	
7	指示された場所・人に容器を渡してください。	
8	ウェットティッシュで手を拭きます。	

唾をだしやすくする方法



①あごの下（顎下腺）を前後によく揉む



②舌を持ち上げて、上の前歯の裏側につけたり、こすったりする



③頬を吸って、口の中に唾液を吸い出す